

「標準時間の設定と活用」 実践セミナー

～標準時間の設定ポイントを理解し、最適なものづくりを実現する～

(旧名称：標準時間の設定と活用実践セミナー)

開催日時 2025年 7月24日(木)～25日(金) **オンライン**
2026年 1月22日(木)～23日(金) **オンライン** 各回とも2日間 10:00～17:00

対象 生産技術部門の中堅スタッフ、管理者 • 製造部門の管理監督者、スタッフ • 生産管理部門の管理者、スタッフ
標準時間、標準原価の設定に関係する管理者、スタッフ • 自動化の推進、コストダウン、生産性向上などを推進されている方々

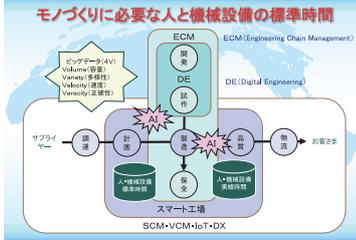
講師 小川 正樹氏 JMA専任講師 / 株MEマネジメントサービス 顧問
参加料(税込) 法人会員：118,800円/1名 会員外：129,800円/1名
※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。 <https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申し込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申し込みください。

本セミナーのねらい

ものづくりの現場では、多くの実績データが収集されていますが、物差しになる標準時間がないと収益性を向上させることができません。

収益性を向上させるには、実績データと“あるべき姿”としての標準時間を比べ、その差異を低減する活動と標準時間を活用した最適な生産計画によるものづくりを実現することです。

本セミナーでは、人と機械設備の標準時間の考え方、設定ポイントや具体的な設定方法から収益性向上に結びつく活用方法について講義と演習、事例を活用しながら丁寧に指導します。



本セミナーのポイント

- ◆事前準備について：事前にお送りするExcelデータをインストールしていただきご参加ください。
- グローバルに通用する人の標準時間であるPTS法(WF、MTM、MOST)について解説します。
- 工数管理や工数見積など目的に応じた標準時間の設定手法が明確になります。
- 最適な機械設備スピードを追求した機械設備の標準時間方法が明確になります。
- 費用対効果を考慮した自社に最適な標準時間の設定方法が明確になります。
- 標準時間と実績時間の差異の低減方法、標準時間を使った生産計画の作り方を体得できます。

参加者の声

- 実例での説明と質問の解答が非常に解り易かった。
- 標準時間を設定する必要性を再認識しました。
- 工程改善のための指標について学んだ事を実践します。

■ プログラム 2日間 10:00～17:00 [昼食] 12:00～13:00 ※電車を使用しますのでご用意ください。

1日目：標準時間の意義と設定手法

1 工場管理と標準時間
(1) 標準時間誕生の歴史に学ぶ
(2) 標準時間の構成
(3) 標準時間設定の目的とレベル

2 人の作業の標準時間の設定ポイント
(1) 直接時間研究と標準スピードを見極めるレイティング
(2) 余裕率設定にも役立つワークサンプリング
(3) 人の動作の基準はPTS(既定時間標準)法

3 人の標準時間を設定する資料の作成方法
(1) 標準時間資料で自社の標準時間を設定する
(2) 合成法による標準時間資料の作り方
(3) 分析法による標準時間資料の作り方
(4) 複数要因と時間の関係を読む重回帰分析
演習 実践！PC(Excel)で標準時間資料の作成

4 機械設備作業の標準時間設定ポイントと方法
(1) 設備の標準時間設定に必要な実験計画法
(2) 機械設備の最適生産条件を追求
(3) 機械設備の標準時間を設定
演習 実践！PC(Excel)で機械設備時間の最適生産条件の設定
(4) 段取標準時間の設定ポイント

2日目：標準時間の設定と有効な使い方

5 作業形態別の標準時間の設定
(1) 機能別生産での標準時間設定ポイント
(2) ライン生産、セル生産での標準時間設定ポイント
(3) 余裕率の設定方法
(4) 標準時間の監査制度とメンテナンスの自動化
演習 PC(Excel)で作業形態別の標準時間設定

6 標準時間の工数・設備効率管理面での活用
(1) 成果の出る工数・設備効率管理のやり方
(2) 作業者の時間のムダ、管理者の時間のムダ
(3) 標準時間を物差しにして生産性を倍増
(4) 仕事量に対応して人と設備を使い分け

7 標準時間の生産管理面での活用
(1) 標準時間で負荷を計算
(2) 負荷と能力の調整をコストで評価
演習 PC(Excel)で負荷と能力を調整し生産計画を作成
(3) 標準時間で工程別のフレキシブルな生産計画を立案
(4) AI・機械学習を活用した生産計画立案モデル
(5) 標準時間を図面段階(CAD)で自動設定

※生産技術者のレベルアップには、生産設計とコストダウン・設備投資のスキルが欠かせません。
【付加価値作業を実現する生産設計と設備最適化セミナー(JMA100391)】をご活用ください。

※プログラム内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。